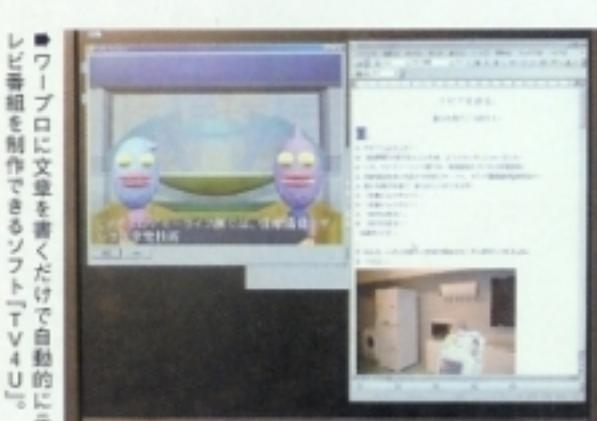


## 「TEPIA第17回展示 e-ライフ展～生活産業の新技術」が開催中

# 思い出の画像による個人認証や カプセル型内視鏡が展示



暮らしのなかで使われるIT技術や開発中の最先端技術を紹介する展示会「TEPIA第17回展示 e-ライフ展～生活産業の新技術」が東京・青山のTEPIAプラザで開催中だ。毎年テーマを決め、1年間の会期で展示を行なうもので、今回は「エレクトロニクス」、「エコテクノロジー」に焦点をあてた製品や技術を紹介している。

個人認証技術「ニーモニックガード」は、子供のころの思い出や好きなことなど、利用者の記憶に基づく画像をパスワードとして登録し、本人認証を行なうもの。本人がパスワードを忘れることがなく、他人に類推されにくい点が特徴。SKTテクノロジーの「本人認証システム」は、同技術を使ったセキュリティーシステム。ICチップ内蔵のIDカードに特殊なフィルムを

組み込み、リーダーにカードをかざすとフィルム越しに画像が表示され、認証を行なえる。

「フィグラ多目的清掃ロボット(仮称)」は、自律走行式の清掃ロボット。超音波センサーと赤外線センサー、ジャイロセンサーを搭載することで、障害物を避けて走行したり、隅々まで清掃できる。ネットワークカメラを搭載し、巡回監視ロボットとしての利用も可能。

アールエフのカプセル型内視鏡「NORIKA3」は、カプセルにCCDカメラとLEDを内蔵し、7～8時間かけて消化管内を撮影する。患者はコイルを内蔵したベストを着用し、マイクロ波でカプセルに電力を送信するしくみ。

そのほか、燃料電池に水素を取り込み、発電した電力でカメラ映像を表示する体験コーナーや、太陽電池や光触媒など、環境に配慮した新技术も紹介している。

月17日まで。入場は無料。